

環境認識

(自動車業界) 成長/成熟、市場の二極化加速

- 中国・アジア：増加 / 欧米・日本：横ばい
全世界市場 9,700万台規模
- 国内市場：777万台/'90 520万台/'17 (-33%)
- 国内生産：920万台規模（現地生産化 輸出減少）
- 自動車メーカー：連結業績好調 国内単独苦戦
- 車両大型化：全長、車高、重量（安全環境性能・電動化）

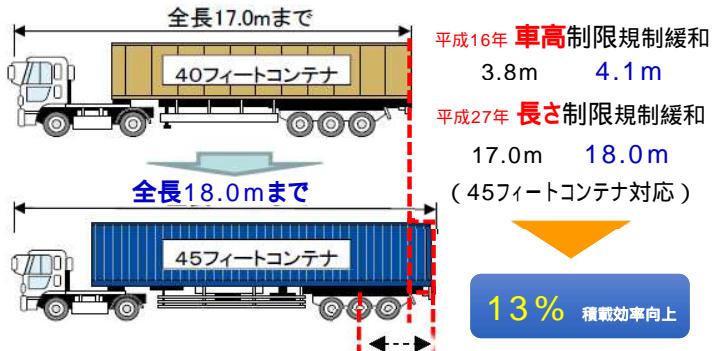
(物流業界) 労働力（輸送能力）不足

- ドライバー不足、高齢化 深刻化
- 慢性的長時間労働、繁閑差ギャップ（3月/4月）大
- 燃料・人件費・健康管理・安全対策コスト増加
- 荷主からの輸送コスト低減要請 経営環境悪化

(政策) 時代の要請、法令遵守の厳格化

- 法令遵守厳格化（車限令の運用強化）
- 高速料金割引額の縮小
- 働き方改革導入 / 労働時間の削減の方向性
- 安全、環境対応の要請

近年の特殊車両通行許可基準の見直し



リアオーバーハング : 3.2 / 3.8m - 4.2m

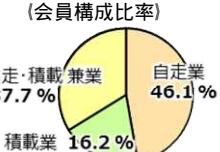
交通の危険防止

社会資本
道路の構造保全

日本陸送協会 二大基本方針

1. 経営の安定化 2. 業界の地位向上

発足 : 昭和40年
会員数 : 全国 706 会員 (9支部)
積載車両数 : 5,805 台
ドライバー数 : 16,839 名 (内 女性 786名 4.7%)



重点施策

- 安全の確立
 - 教育認定制度の充実
認定者数 : 832名 (ドライバー684名、管理者148名)
 - 健康起因事故の撲滅
脳MRI受診 / SAS検診推進
- 輸送秩序の確立
 - コンプライアンスの徹底
 - 路上積み下ろし作業拠点削減
 - 陸送事業概況調査の実施
 - 適正運賃収受に向けた取り組み
(各社 / 個別対応)
- 陸送事業の
経営環境改善
 - 作業環境改善 / 安全確保
 - 健康管理の推進
 - 働き方改革の対応
 - 自走 : 高速道路料金割引適用
 - 積載 : 特殊車両通行許可
- 労働環境改善による
労働力の確保
 - 作業環境改善 / 安全確保
 - 健康管理の推進
 - 働き方改革の対応
 - 自走 : 高速道路料金割引適用
 - 積載 : 特殊車両通行許可
- 規制改革活動の推進
 - 許可基準の見直し

連結全長車両諸元値 → 貨物積載状態 <18mで申請

車両構造の相違

	コンテナ用セミトレーラ (45フィート緩和)	自動車運搬用セミトレーラ (標準サイズ)
全長	18mまで	17mまで
トレーラ軸数	2 ~ 3軸	1軸
リアオーバーハング	3.2 / 3.8 ~ 4.2m	1.0 ~ 2.5m

右左折・旋回時の安全性実証

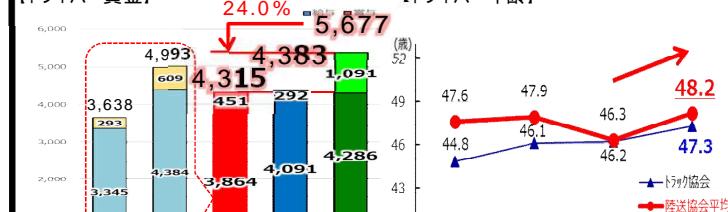
自動車運搬用セミトレーラの実態に合わせたリアオーバーハング値の設定

安全 / 保全の担保・コンプライアンス遵守

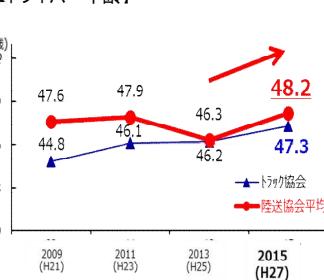
両立

業界の実態

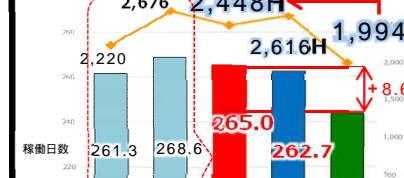
[ドライバー賃金]



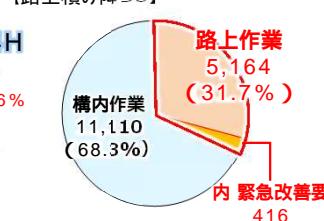
[ドライバー年齢]



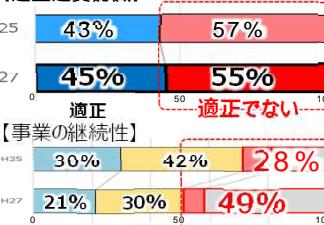
[年間労働時間]



[路上積み降ろし]



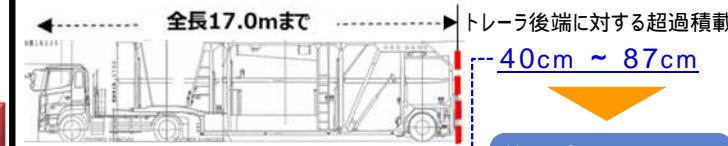
[適正運賃認識]



[事業の継続性]



自動車専用運搬セミトレーラの効率化



4社調査加重平均

リアオーバーハング : 1.0 ~ 2.5m

物流の効率化

